

## 付録

### 1 緑化木の種類

実際緑化に使用されている主な樹木を選び、それぞれの種を、在来種、外来種（国内）・外来種（国外）・園芸種に区分し明らかにしました。

#### (1) 在来種

埼玉県内で自生している種とする。ほとんど緑化や植林に使われていない種も含む。

希少種や分布が極めて限定される種は、なるべく除外した。

#### (2) 外来種（国内）

国内に自生するが埼玉県内では自生していない種、中には森林内に定着しつつある種を含む。

#### (3) 外来種（国外）

国内に自生していない種とする。すでに自然生態系内に定着している種も数多く、外来種といっても、モウソウチク、マダケ、ハチク、セイヨウハコヤナギ（ポプラ）、シダレヤナギなど、人里や都市景観の重要な構成要素になっている種も少なくない。

#### (4) 園芸種

品種改良が行われている種であり、原種が外来種（国内）・外来種（国外）・在来種であるかは問わない。

#### (5) 生態系被害防止外来種リストに掲載されている種

生態系被害防止外来種リストとは、環境省及び農水省が作成、公表した生態系、人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼす又はそのおそれがあるものを生態的特性及び社会的状況を踏まえて選定したものである。

植物については、植栽した場所だけではなく、種子が鳥や風に運ばれて自然界に定着し、今まで生育していた種を駆逐したり、近縁の在来種との交雑により地域の個体群の遺伝的特性を変えてしまうことなどにより、固有な生態系を変質させてしまうおそれがある。

外国から入ってきた植物だけではなく、外来種（国内）で上記のような問題を引き起こす恐れのある植物を含む。

生態系被害防止外来種リストに掲載されている種は「外来種リスト」と表示した。

※ どの区分にすべきか判断に迷う種類及び、分類が限定されているため同系統の遺伝的特性を持つ苗木の確保が困難な種類等については、\*マークを付し末尾に特記した。

緑化樹としてよく使われている在来植物には○を付した。

### 広葉樹

区 分	在 来 種	外 来 種	
		国 内	国外（園芸種含む）
落葉高木	(クルミ科) ○オニグルミ サワグルミ (ヤナギ科) ヤマナラシ アカメヤナギ タチヤナギ コゴメヤナギ (カバノキ科) ○ハンノキ ○ヤマハンノキ ウダイカンバ ミズメ ○シラカンバ ○ヤシャブシ アサダ サワシバ クマシデ ○イヌネシデ ○アカシデ (ブナ科) ○*ブナ *イヌブナ ミズナラ ○コナラ ○クリ	(ブナ科) アベマキ カシワ *クヌギ	(クルミ科) テウチグルミ (ヤナギ科) ギンドロ セイヨウハコヤナギ シダレヤナギ ウンリュウヤナギ (マンサク科) フウ モミジバフウ (トチュウ科) トチュウ (ブナ科) ピンオーク

区 分	在 来 種	外 来 種	
		国 内	国外（園芸種含む）
落葉高木	(アサ科) ムクノキ エゾエノキ ○エノキ (ニレ科) ○ケヤキ *ハルニレ *オヒョウ (モクレン科) ホオノキ ○コブシ (フサザクラ科) フサザクラ (カツラ科) ○カツラ (バラ科) ○ヤマザクラ ウワミズザクラ イヌザクラ オオヤマザクラ *ヤマナシ (マメ科) ネムノキ イヌエンジュ (ミカン科) カラスザンショウ キハダ (ムクロジ科) ○イロハモミジ コミネカエデ イタヤカエデ ○トチノキ	(ニレ科) アキニレ  (バラ科) オオシマザクラ  (イイギリ科) イイギリ  (ムクロジ科) ハナノキ	(モクレン科) ユリノキ  (ウルシ科) カイノキ ニワウルシ (外来種リスト) (トウダイグサ科) アブラギリ類 ナンキンハゼ  (マメ科) サイカチ ハリエンジュ (外来種リスト) キササゲ  (ムクロジ科) トウカエデ セイヨウトチノキ

区 分	在 来 種	外 来 種	
		国 内	国外（園芸種含む）
落葉高木	(アオイ科) シナノキ  (ミズキ科) ○ミズキ (ウコギ科) ハリギリ (エゴノキ科) ○ハクウンボク オオバアサガラ (モクセイ科) *シオジ  (キリ科) *キリ	(モクセイ科) ヤチダモ トネリコ  (ツバキ科) ヒメシヤラ	(アオイ科) ボダイジュ アオギリ (ハスノハギリ科) ハスノハギリ (スズカケノキ科) スズカケノキ (センダン科) センダン (ムクロジ科) モクゲンジ ムクロジ (カキノキ科) *カキ *マメガキ (クワ科) *ヤマグワ
常緑高木	(ブナ科) ツクバネガシ アラカシ ウラジロガシ ○シラカシ ○スダジイ アカガシ (クスノキ科) ヤブニッケイ	(ヤマモモ科) ヤマモモ (ブナ科) *イチイガシ ツブラジイ マテバシイ  (ユズリハ科) エゾユズリハ (クスノキ科) クスノキ タブノキ カゴノキ	(モクレン科) タイサンボク  (マメ科) エンジュ (クスノキ科) ニッケイ

区 分	在 来 種	外 来 種	
		国 内	国外（園芸種含む）
常緑高木		(ツバキ科) モッコク サカキ (モチノキ科) タラヨウ	(マメ科) ギンヨウアカシア フサアカシア (フトモモ科) ユーカリ類
落葉中高木	(カバノキ科) *オレオレカンバ (ツバキ科) ○ナツツバキ (トウダイグサ科) アカメガシワ (ニガキ科) ニガキ (ウルシ科) ヌルデ (ミツバウツギ科) ゴンズイ (ミズキ科) ○ヤマボウシ (ウコギ科) コシアブラ (リョウブ科) ○リョウブ (バラ科) ズミ アズキナシ ○ナナカマド (マメ科) フジキ (エゴノキ科) ○エゴノキ (モクセイ科) アオダモ	(カバノキ科) *ヒメヤシャブシ	(モクレン科) ハクモクレン モクレン  (トウダイグサ科) オオバベニガシワ (クロウメモドキ科) ナツメ     (ミズキ科) サンシュユ ハナミズキ (バンレイシ科) ポポー  (バラ科) カリン マルメロ リンゴ セイヨウミザクラ ウメ モモ スモモ アンズ

区 分	在 来 種	外 来 種	
		国 内	国外（園芸種含む）
落葉中高木	(ムクロジ科) メグスリノキ (モチノキ科) アオハダ		(ミソハギ科) サルスベリ
常緑中高木	(クスノキ科) シロダモ (ツバキ科) ○ヤブツバキ (モクセイ科) ○ヒイラギ ○ネズミモチ (ツゲ科) ツゲ	(ブナ科) ウバメガシ (ツバキ科) サザンカ  (モチノキ科) クロガネモチ モチノキ (レンプクソウ科) サンゴジュ (トベラ科) トベラ (バラ科) カナメモチ	(モクセイ科) キンモクセイ ギンモクセイ ヒイラギモクセイ トウネズミモチ (外来種リスト) (モチノキ科) セイヨウヒイラギ (キョウチクトウ科) キョウチクトウ
落葉低木	(ヤナギ科) ○ネコヤナギ ○カワヤナギ (カバノキ科) ツノハシバミ (クワ科) カジノキ コウゾ	(モクレン科) オオヤマレンゲ シデコブシ タムシバ	

区 分	在 来 種	外 来 種	
		国 内	国外（園芸種含む）
落葉低木	(ナス科) クコ (クスノキ科) クロモジ アブラチャン ヤマコウバシ ダンコウバイ (メギ科) メギ (マンサク科) ○マンサク (アジサイ科) タマアジサイ コアジサイ ノリウツギ マルバウツギ ○ウツギ (バラ科) コゴメウツギ ○ヤマブキ モミジイチゴ クマイチゴ カマツカ ○クサボケ ○ユキヤナギ ○シモツケ (ミカン科) コクサギ サンショウ イヌザンショウ	(マンサク科) ビュウガミズキ トサミズキ (スグリ科) ヤブサンザシ スグリ (バラ科) シロヤマブキ カジイチゴ	(バラ科) コマデリ ボケ ヒメリンゴ ハナカイドウ ユスラウメ

区 分	在 来 種	外 来 種	
		国 内	国外（園芸種含む）
落葉低木	(モチノキ科) ○ウメモドキ (ニシキギ科) ○コマユミ ○ニシキギ ○マユミ (ミツバウツギ科) ミツバウツギ (クロウメモドキ科) クマヤナギ (グミ科) ○ナツグミ (キブシ科) キブシ (ハナイカダ科) ハナイカダ (ウコギ科) ○タラノキ オカウコギ ヤマウコギ (ツツジ科) ネジキ ○ミツバツツジ サラサドウダン ○ヤマツツジ ○レンゲツツジ (ハイノキ科) サワフタギ (モクセイ科) ハシドイ ○イボタノキ (マメ科) キハギ	(ツツジ科) ヨウラクツツジ ドウダンツツジ	(ツツジ科) ブルーベリー         (モクセイ科) ライラック シナレンギョウ ヲウセンレンギョウ



区 分	在 来 種	外 来 種	
		国 内	国外（園芸種含む）
落葉低木	(シソ科) クサギ ○ムラサキシキブ (スイカズラ科) ニシキウツギ (レンプクソウ科) ○ガマズミ ニワトコ オオカメノキ オトコヨウゾメ コバノガマズミ ウグイスカグラ	(シソ科) コムラサキ  (スイカズラ科) ハコネウツギ タニウツギ	(レンプクソウ科) オオマデリ
常緑低木	(ミカン科) ミヤマシキミ (モチノキ科) ソヨゴ ○イヌツゲ (ガリア科) ○アオキ  (ツツジ科) ○アセビ	(マツブサ科) マツブサ科 (ニシキギ科) マサキ (ウコギ科) ヤツデ  カクレミノ (外来種リスト)  (センリョウ科) センリョウ	(マンサク科) トキワマンサク (メギ科) ナンテン ヒイラギナンテン ホバヒイギナンテン (ツバキ科) チャノキ  (ミカン科) カラタチ (ツゲ科) ヒメツゲ (ジンチョウゲ科) ジンチョウゲ (スイカズラ科) ハザハツクハウサギ (ツツジ科) ツツジ類園芸品種 西洋シャクナゲ カルミア

区 分	在 来 種	外 来 種	
		国 内	国外（園芸種含む）
常緑低木	(サクラソウ科) ヤブコウジ	(バラ科) シャリンバイ	(アカネ科) クチナシ (バラ科) ピラカンサ (外来種リスト) トキワサンザシ (サクラソウ科) マンリョウ (オトギリソウ科) ビヨウヤナギ
落葉つる性	(アケビ科) ○アケビ ○ミツバアケビ (マタタビ科) サルナシ マタタビ (ユキノシタ科) イワガラミ ツルアジサイ (バラ科) ノイバラ (マメ科) ヤマフジ (ニシキギ科) ○ツルウメモドキ (ブドウ科) ヤマブドウ エビヅル ○ツタ (スイカズラ科) スイカズラ		(マタタビ科) キウイ (外来種リスト) (ノウゼンカズラ科) ノウゼンカズラ  (マメ科) フジ

区 分	在 来 種	外 来 種	
		国 内	国外（園芸種含む）
常緑つる性	(ニシキギ科) ツルマサキ (グミ科) ツルグミ (ウコギ科) ○キヅタ (キョウチクトウ科) テイカカズラ (マツブサ科) サネカズラ		(アケビ科) ムベ  (ウコギ科) セイヨウキヅタ
ササ・タケ類・ ヤシ類	(イネ科) アズマネザサ ○メダケ ミヤコザサ スズタケ	(イネ科) クマザサ ヤダケ オカメザサ  (ヤシ科) シュロ (外来種リスト)	(イネ科) モウソウチク (外来種リスト) マダケ (外来種リスト) ホテイチク ハチク (ヤシ科) トウジュロ (外来種リスト)

## 針葉樹

区分	在来種	外来種	
		国内	国外（園芸種含む）
落葉高木	(マツ科) *カラマツ		(イチョウ科) イチョウ (ヒノキ科) メタセコイヤ ラクウショウ
常緑高木	(マツ科) ○アカマツ モミ ○*ゴヨウマツ ウラジロモミツガ (コウヤマキ科) ○*コウヤマキ  (ヒノキ科) ○スギ ○ヒノキ ○サワラ *アスナロ *ネズコ (イチイ科) イヌガヤ ○*イチイ カヤ	(マツ科) クロマツ エゾマツ アカエゾマツ (マキ科) イヌマキ ナギ  (ヒノキ科) カイズカイブキ	(マツ科) テーダマツ ストローブマツ ダイオウショウ ハクショウ ドイツトウヒ ギンヨウトウヒ ヒマラヤスギ (ヒノキ科) コウヨウザン ニオイヒバ コノテガシワ ヒヨクヒバ ヒムロ チャボヒバ イタヤカシワ ゴールドクレスト
常緑中高木	(ヒノキ科) ネズミサシ		(ヒノキ科) コノテガシワ
常緑低木		(イチイ科) キャラボク (ヒノキ科) ミヤマビャクシン ハイビャクシン ハイネツ	

- \* どの区分にすべきか判断に迷う種類及び、分類が限定されているため同系統の遺伝的特性を持つ苗木の確保が困難な種類等について

#### [在来種]

- \* シオジ 天然分布は秩父山地方面に限定されている。
- \* ヤマナシ 栽培起源の可能性はあるが、山地森林内で広く自生状態で生育している。
- \* キリ 栽培起源の可能性はあるが、山地森林内で広く自生状態で生育している。
- \* ブナ 天然分布は秩父山地方面に限定されている。
- \* イヌブナ 天然分布は秩父山地方面に限定されている。
- \* ハルニレ 天然分布は秩父山地方面に限定されている。
- \* オヒョウ 天然分布は秩父山地方面に限定されている。
- \* オノオレカンバ 天然分布は秩父山地方面に限定されている。
- \* ゴヨウマツ 天然分布は秩父山地方面に限定されている。
- \* カラマツ 天然分布は秩父山地方面に限定されている。
- \* コウヤマキ 天然分布は秩父山地方面に限定されている。
- \* イチイ 天然分布は秩父山地方面に限定されている。
- \* アスナロ 天然分布は秩父山地方面に限定されている。
- \* ネズコ 天然分布は秩父山地方面に限定されている。

#### [外来種 (国内)]

- \* クヌギ 県内台地丘陵部で広く分布するが、埼玉県植物誌に「県内では植林が多い」との記述があり、山地の天然林にはほとんど見られない。
- \* イチイガシ 人家周りに植栽されたものが起源の可能性が他愛。
- \* ヒメヤシャブシ 治山工事等で多く植栽されている。

#### [外来種 (国外)]

- \* カキ 自生状態のものも多いが、栽培起源の可能性が高い。
- \* マメガキ 自生状態のものも多いが、栽培起源の可能性が高い。
- \* ヤマグワ 自生状態のものも多いが、栽培起源の可能性が高い。

## 2 緑化木選定基準

### (1) 落葉樹

#### 落葉高木

種名	低地・台地 標高 100m程度 まで	丘陵・低山 標高 500m以下	山地 標高 500m～ 1000m
(クルミ科)			
○オニグルミ	○	○	○
サワグルミ			○
(ヤナギ科)			
ヤマナラシ			○
アカメヤナギ	○		
タチヤナギ		○	○
コゴメヤナギ	○	○	○
(カバノキ科)			
○ハンノキ	○	○	○
○ヤマハンノキ		○	○
ウダイカンバ			○
ミズメ			○
○シラカンバ			○
○ヤシャブシ		○	○
アサダ			○
サワシバ		○	○
クマシデ		○	○
○イヌシデ	○	○	○
○アカシデ	○	○	○
(ブナ科)			
○*ブナ			○
*イヌブナ			○
ミズナラ			○
○コナラ	○	○	○
○クリ	○	○	○

落葉高木

種名	低地・台地 標高 100m程度 まで	丘陵・低山 標高 500m以下	山地 標高 500m～ 1000m
(アサ科)			
ムクノキ	○		
エゾエノキ	○	○	
○エノキ	○	○	
(ニレ科)			
○ケヤキ	○	○	○
*ハルニレ			○
*オヒョウ			○
(モクレン)			
ホオノキ	○	○	○
○コブシ	○	○	○
(フサザクラ科)			
フサザクラ		○	○
(カツラ科)			
○カツラ	○	○	○
(バラ科)			
○ヤマザクラ	○	○	○
ウワミズザクラ	○	○	○
イヌザクラ	○	○	○
オオヤマザクラ			○
*ヤマナシ		○	○
(マメ科)			
ネムノキ	○	○	
イヌエンジュ		○	○
(ミカン科)			
カラスザンショウ	○	○	
キハダ		○	○

落葉高木

種名	低地・台地 標高 100m程度 まで	丘陵・低山 標高 500m以下	山地 標高 500m～ 1000m
(ムクロジ科)			
○イロハモミジ	○	○	○
コミネカエデ		○	○
イタヤカエデ		○	○
○トチノキ	○	○	○
(アオイ科)			
シナノキ		○	○
(ミズキ科)			
○ミズキ	○	○	○
(ウコギ科)			
ハリギリ		○	○
(エゴノキ科)			
○ハクウンボク		○	○
オオバアサガラ			○
(モクセイ科)			
*シオジ			○
(キリ科)			
*キリ	○	○	○



落葉中高木

種名	低地・台地 標高 100m程度 まで	丘陵・低山 標高 500m以下	山地 標高 500m～ 1000m
(カバノキ科) *オノオレカンバ			○
(ツバキ科) ○ナツツバキ	○	○	○
(トウダイグサ科) アカメガシワ	○	○	○
(ニガキ科) ニガキ	○	○	
(ウルシ科) ヌルデ	○	○	○
(ミツバウツギ科) ゴンズイ	○	○	
(ミズキ科) ○ヤマボウシ		○	○
(ウコギ科) コシアブラ			○
(リョウブ科) ○リョウブ	○	○	○
(バラ科) ズミ			○
アズキナシ		○	○
○ナナカマド			○
(マメ科) フジキ		○	○
(エゴノキ科) ○エゴノキ	○	○	○
(モクセイ科) アオダモ		○	○
(ムクロジ科) メグスリノキ			○
(モチノキ科) アオハダ		○	○

落葉低木

種名	低地・台地 標高 100m程度 まで	丘陵・低山 標高 500m以下	山地 標高 500m～ 1000m
(ヤナギ科)			
○ネコヤナギ	○	○	○
○カワヤナギ	○	○	○
(カバノキ科)			
ツノハシバミ			○
(クワ科)			
カジノキ		○	
コウゾ		○	
(ナス科)			
クコ	○		
(クスノキ科)			
クロモジ		○	○
アブラチャン		○	○
ヤマコウバシ		○	○
ダンコウバイ		○	
(メギ科)			
メギ		○	
(マンサク科)			
○マンサク		○	○
(アジサイ科)			
タマアジサイ		○	○
コアジサイ		○	○
ノリウツギ		○	○
マルバウツギ		○	○
(ユキノシタ科)			
○ウツギ	○		
(バラ科)			
コゴメウツギ		○	○
○ヤマブキ	<u>○</u>	<u>○</u>	<u>○</u>
モミジイチゴ	○	○	○
クマイチゴ		○	○

落葉低木

種名	低地・台地 標高 100m程度 まで	丘陵・低山 標高 500m以下	山地 標高 500m～ 1000m
(バラ科)			
カマツカ	○	○	○
○クサボケ	○	○	
○ユキヤナギ		○	○
○シモツケ		○	○
(ミカン科)			
コクサギ		○	○
サンショウ	○	○	○
イヌザンショウ		○	○
(モチノキ科)			
○ウメモドキ		○	
(ニシキギ科)			
○コマユミ	○	○	○
○ニシキギ		○	○
○マユミ	○	○	○
(ミズバウツギ科)			
ミズバウツギ		○	○
(クロウメモドキ科)			
クマヤナギ		○	○
(グミ科)			
○ナツグミ	○	○	○
(キブシ科)			
キブシ		○	○
(ハナイカダ科)			
ハナイカダ		○	○
(ウコギ科)			
○タラノキ	○	○	○
オカウコギ	○		
ヤマウコギ		○	○

落葉低木

種名	低地・台地 標高 100m程度 まで	丘陵・低山 標高 500m以下	山地 標高 500m～ 1000m
(ツツジ科)			
ネジキ		○	○
○ミツバツツジ		○	○
サラサドウダン			○
○ヤマツツジ	○	○	○
○レンゲツツジ			○
(ハイノキ科)			
サワフタギ		○	○
(モクセイ科)			
ハシドイ		○	○
○イボタノキ	○	○	○
(シソ科)			
クサギ	○	○	○
○ムラサキシキブ	○	○	○
(スイカズラ科)			
ニシキウツギ		○	○
ウグイスカグラ	○	○	
(レンプクソウ科)			
○ガマズミ	○	○	○
ニワトコ	○	○	
オオカメノキ			○
オトコヨウゾメ		○	○
コバノガマズミ		○	○
(マメ科)			
キハギ	○	○	

つる・ササ・タケ等

種名	低地・台地 標高 100m程度 まで	丘陵・低山 標高 500m以下	山地 標高 500m～ 1000m
<b>落葉つる性</b>			
(アケビ科)			
○アケビ	○	○	
○ミツバアケビ		○	○
(マタタビ科)			
サルナシ		○	○
マタタビ		○	○
(アジサイ科)			
イワガラミ		○	○
ツルアジサイ			○
(バラ科)			
ノイバラ	○	○	
(マメ科)			
ヤマフジ	○	○	○
(ニシキギ科)			
○ツルウメモドキ		○	○
(ブドウ科)			
ヤマブドウ		○	○
エビヅル	○	○	
○ツタ	○	○	○
(スイカズラ科)			
スイカズラ	○	○	
<b>ササ類・タケ類</b>			
(イネ科)			
アズマネザサ	○	○	
○メダケ	○	○	
ミヤコザサ		○	○
スズタケ		○	○

(2) 常緑樹

高木・中高木・低木

種名	低地・台地 標高 100m程度 まで	丘陵・低山 標高 500m以下	山地 標高 500m～ 1000m
<b>常緑高木</b> (ブナ科)			
ツクバネガシ	○	○	
アラカシ	○	○	
ウラジログシ	○	○	
○シラカシ	○		
○スダジイ	○	○	
アカガシ	○	○	
(クスノキ科)			
ヤブニッケイ	○		
<b>常緑中高木</b> (クスノキ科)			
シロダモ	○	○	
(ツバキ科)			
○ヤブツバキ	○	○	
(モクセイ科)			
○ヒイラギ	○	○	
○ネズミモチ	○	○	
(ツゲ科)			
ツゲ		○	○
<b>常緑低木</b> (ミカン科)			
ミヤマシキミ	○	○	
(モチノキ科)			
ソヨゴ	○	○	
○イヌツゲ	○	○	
(ガリア科)			
○アオキ	○	○	

高木・中高木・低木

種 名	低地・台地 標高 100m程度 まで	丘陵・低山 標高 500m以下	山 地 標高 500m～ 1000m
常緑低木 (ツツジ科) ○アセビ (サクラソウ科) ヤブコウジ	○  ○	○  ○	○
常緑つる性 (ニシキギ科) ツルマサキ (グミ科) ツルグミ (ウコギ科) ○キツタ (キョウチクトウ科) テイカカズラ (マツブサ科) サネカズラ	○  ○  ○  ○  ○	○  ○  ○  ○  ○	

斜面の傾斜による暖地性常緑樹の生育可能性の標高目安

山地日向斜面 標高 500m以下

山地日陰斜面 標高 300m以下

山地寒風が当たる北西斜面の場合 標高 200m以下

秩父地域では、冬季の冷え込みが厳しいため、防寒対策に留意するとともに、標高目安も低めにして活用するなど慎重な対応が必要になる。

(3) 針葉樹

高木・中高木

種名	低地・台地 標高 100m程度 まで	丘陵・低山 標高 500m以下	山地 標高 500m～ 1000m
落葉高木 (マツ科) *カラマツ			○
常緑高木 (マツ科) ○アカマツ モミ ○*ゴヨウマツ ウラジロモミ ツガ (コウヤマキ科) ○*コウヤマキ (ヒノキ科) ○スギ ○ヒノキ ○サワラ *アスナロ *ネズコ (イチイ科) イヌガヤ ○*イチイ カヤ	○ ○      ○ ○ ○	○ ○  ○   ○ ○ ○  ○ ○	○ ○ <u>○</u> ○ ○  ○  ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
常緑中高木 (ヒノキ科) ネズミサシ		○	○



### 3 緑化木確保にあたり留意すべき事項と今後の課題

- (1) 理想的には、植栽場所の近くで自生しているものから増殖した苗木を使い、地域個体群の遺伝子攪乱を防ぐ必要があるが、市場流通により確保することは事実上不可能なので、できるだけ本県産の自生木から増殖した苗木の確保に努める必要がある。
- (2) 本県産苗木の供給を確保するために、生産体制を整備する必要がある。
- (3) 山取苗木については、業者が自生地から根こそぎ採取してしまうなど、生物多様性の保全に支障をきたす場合があるので、使用については慎重に行う必要がある。

#### 4 在来種の特性

花・紅葉については、鑑賞価値があるものに、木の実については、鑑賞価値があるものや、鳥や獣が好んで食べるものを目安に○を付けた。

なお、「光条件」及び「水分条件」は、苗木を植栽する場合の目安として記載している。

##### [広葉樹]

区分	樹種	樹種の特性						
		光条件	水分条件	耐寒性	花	木の实	紅葉	その他
落葉 高木	オニグルミ	陰	湿	中		○		種子食用
	サワグルミ	中	中	中				溪流沿いに生育
	ヤマナラシ	陽	湿	中				ポプラの近縁種
	アカメヤナギ	陽	湿	中				湿地植栽に適す
	タチヤナギ	陽	湿	中				湿地植栽に適す
	コゴメヤナギ	陽	湿	中				湿地植栽に適す
	ハンノキ	陽	湿	中				湿地植栽に適す
	ヤマハンノキ	陽	渴～ 湿	中				砂防植樹
	ウダイカンバ	陽	中	中				山地に生育
	ミズメ	陽	中	中				山地に生育
	シラカンバ	陽	中	高			○	山地に生育
	ヤシャブシ	陽	乾～	中				砂防植樹
	アサダ	中	中	高			○	山地に生育
	サワシバ	中	中	中				溪流沿いに生育
	クマシデ	中	中	中				雑木林の構成種
	イヌシデ	中	中	中				雑木林の構成種
	アカシデ	中	中	中			○	雑木林の構成種
	ブナ	陰	中	中		○	○	冷温帯の主要構成種
	イヌブナ	陰	中	中		○		山地に生息
	ミズナラ	中	中	高		○	○	冷温帯の主要構成種
	コナラ	陽	中	中		○	○	雑木林の構成種
	クリ	陽	中	中		○		種子食用
	ムクノキ	陽	中	中		○		実を鳥が好む
	エゾエノキ	中	中	中		○		実を鳥が好む
	エノキ	陽	湿	中		○	○	実を鳥が好む
	ケヤキ	陽	中	中			○	屋敷林に多い

区分	樹種	樹種の特徴						
		光条件	水分条件	耐寒性	花	木の实	紅葉	その他
落葉 高木	ハルニレ	陽	湿	高				湿地植栽に適す
	オヒョウ	中	中	高				奥山に生育
	ホオノキ	中	中	中	○	○		山地に生育
	コブシ	中	中	中	○	○	○	花白色実を鳥が好む
	コサザクラ	陽	湿	中	○			溪流沿いに生育
	カツラ	陽	湿	中	○		○	雌雄異株
	ヤマザクラ	陽	中	中	○	○	○	花淡紅色実を鳥が好む
	ウワミズザクラ	陽	中	中	○	○		花白色実を鳥が好む
	イヌザクラ	陽	中	中	○	○		花白色実を鳥が好む
	オオヤマザクラ	陽	中	中	○	○	○	花淡紅色実を鳥が好む
	ヤマナシ	陽	中	中	○	○		とげあり
	ネムノキ	陽	湿	中	○			花淡紅色
	イヌエンジュ	陽	中	中				山地に生育
	カラスザンショウ	陽	中	中		○		とげあり
	キハダ	陽	中	中		○	○	樹皮を薬用とする
	イロハモミジ	陽	中	中			○	紅葉美しい
	コミネカエデ	陽	中	中			○	紅葉美しい
	イタヤカエデ	中	湿	中			○	溪流沿いに生育
	トチノキ	陰	湿	中	○	○		種子食用
	シナノキ	陽	中	中			○	山地に生育
	ミズキ	陽	中	中	○	○		花白色実を鳥が好む
	ハリギリ	陽	中	中		○	○	とげあり実を鳥が好む
ハクウンボク	陽	湿	中	○			花白色	
オオバアサガラ	陽	湿	中	○			溪流沿いに生育	
シオジ	陰	湿	中				雌雄異株	
キリ	陽	中	中	○			花紫色	
常緑 高木	ツクバネガシ	陰	中	低		○		社寺林に多い
	アラカシ	陰	中	低		○		社寺林に多い
	ウラジロガシ	陰	中	低		○		社寺林に多い
	シラカシ		中	低		○		屋敷林に多い
	スタジイ		中	低		○		種子食用
	アカガシ		中	低		○		神寺林に多い
	ヤブニッケイ		中	低		○		屋敷林に多い

区分	樹種	樹種の特徴						
		光条件	水分条件	耐寒性	花	木の 実	紅葉	その他
落葉 中高 木	オノオレカンバ	中	中	高				奥山に生育
	ナツツバキ	陽	中	中	○		○	花白色
	アカメガシワ	陽	乾～ 中	中				林縁に多い
	ニガキ	陽	中	中				林縁に多い
	ヌルデ	陽	乾～ 中	中		○	○	林縁に多い
	ゴンズイ	陽	中	中		○		実を鳥が好む
	ヤマボウシ	中	中	中	○	○	○	花白色実を鳥が好む
	コシアブラ	陽	中	中		○	○	山菜実を鳥が好む
	リョウブ	陽	乾～ 中	中	○			花白色
	ズミ	陽	中	中	○	○		とげあり実を鳥が好む
	フジキ	陽	中	中	○			山地に生育
	エゴノキ	陽	湿	中	○	○		湿地植栽に適す
	アオダモ	中	中	中	○			雌雄異株
	アズキナシ	中	中	中	○	○		花白色実を鳥が好む
ナナカマド	陽	中	高	○	○	○	実を鳥が好む	
メグスリノキ	陽	中	中			○	薬用	
アオハダ	陽	中	中		○		雌雄異株実を鳥が好む	
常緑 中高 木	シロダモ	陰	中	低		○		実を鳥が好む
	ヤブツバキ	陰	中	低	○	○		
	ヒイラギ	陰	中	低	○	○		雌雄異株
	ネズミモチ	陰	中	低	○	○		実を鳥が好む
	ツゲ	陰	乾	低				山地に生育
落葉 低木	ネコヤナギ	陽	湿	中	○			湿地植栽に適す
	カワヤナギ	陽	湿	中				湿地植栽に適す
	ツノハシバミ	陽	中	中		○		種子食用
	カジノキ	陽	中	中		○		実を鳥が好む
	コウゾ	陽	中	中		○		実を鳥が好む

区分	樹種	樹種の特徴						
		光条件	水分条件	耐寒性	花	木の实	紅葉	その他
落葉 低木	クコ	陽	中	中		○	○	実を鳥が好む
	クロモジ	陽	中	中	○	○	○	枝葉に芳香がある
	アブラチャン	陽	中	中	○	○	○	山地に生育
	ヤマコウバシ	陽	中	中				枝葉に芳香がある
	ダンコウバイ	陽	中	中			○	山地に生育
	メギ	陽	湿	中	○	○		とげあり
	マンサク	中	湿	中	○			山地に生育
	タマアジサイ	陰	湿	中	○			湿地植栽に適す
	コアジサイ	陽	中	中	○			花青紫色
	ノリウツギ	陽	中	中	○			花白色
	マルバウツギ	陽	乾	中	○			花白色
	ウツギ	陽	乾	中	○			花白色
	コゴメウツギ	中	中	中				花目立たない
	ヤマブキ	中	中	中	○			花黄色
	モミジイチゴ	中	中	中	○	○		とげあり
	クマイチゴ	陽	中	中	○	○		とげあり
	カマツカ	陽	中	中	○	○		花白色実を鳥が好む
	クサボケ	陽	乾	中	○	○	○	とげあり
	ユキヤナギ	陽	中	中	○			花白色
	シモツケ	陰	中	中	○			
	コクサギ	陰	中	中				全体が有毒
	○サンショウ	陰	中	中		○		とげあり
	イヌザンショウ	中	中	中		○		とげあり
	ウメモドキ	陽	中	中		○		雌雄異株実を鳥が好む
	コマユミ	陽	中	中		○	○	雑木林に多い
	ニシギキ	陽	中	中		○	○	雑木林に多い
	マユミ	陽	湿	中	○	○	○	雑木林に多い
	ミツバウツギ	陽	中	中	○			山地に生育
	クマヤナギ	陽	中	中				雑木林に多い
	ナツグミ	陽	湿	中		○		とげあり
キブシ	陰	湿	中	○			溪流沿いに生育	
ハナイカダ	陽	乾	中				溪流沿いに生育	

区分	樹種	樹種の特徴						
		光条件	水分条件	耐寒性	花	木の 実	紅葉	その他
落葉 低木	タラノキ	陽	乾	中		○		とげあり実を鳥が好む
	オカウコギ	陽	乾	中	○			平地・山地に生育
	ヤマウコギ	陽	乾	中	○			山地に生育
	ネジキ	陽	乾	中	○			花白色
	キハギ	陽	乾	中	○			花黄色
	ミツバツツジ	中	乾	高	○			花赤紫色
	○サラサドウダン	陽	乾	中	○		○	花赤紫色
	ヤマツツジ	陽	中	中	○			橙赤色
	レンゲツツジ	陽	乾	中	○			全体が有毒橙赤色
	サワフタギ	陽	中	中	○	○		青い実が美しい
	ハシドイ	陽	乾	中	○			花白色
	イボタノキ	陽	中	中	○	○		花白色
	クサギ	陽	中	中	○	○		葉に悪臭あり
	ムラサキシキブ	中	中	中	○	○		実が薄紫色で美しい
	ニシキウツギ	中	中	中	○			赤・淡紅色
	ガマズミ	中	中	中	○	○		花白色実を鳥が好む
	ニワトコ	中	中	中	○	○		実を鳥が好む
	オオカメノキ	中	中	中	○	○	○	花白色実を鳥が好む
	オトコヨウゾメ	中	中	中	○	○	○	実を鳥が好む
コバノガマズミ	中	中	中	○	○		実を鳥が好む	
ウグイスカグラ	中	中	中	○	○	○	実を鳥が好む	
常緑 低木	ミヤマシキミ	陰	中	低	○	○		全体が有毒
	ソヨゴ	陰	中	低		○		雌雄異株実を鳥が好む
	イヌツゲ	陰	中	低		○		雌雄異株実を鳥が好む
	アオキ	陰	中	低		○		雌雄異株実を鳥が好む
	アセビ	陰	乾	低	○			全体が有毒花白色
	ヤブコウジ	陰	中	低		○		実を鳥が好む
	ヒサカキ	陰	中	低		○		実を鳥が好む
落葉 つる 性	アケビ	中	中	中		○		実を鳥が好む
	ミツバアケビ	中	中	中		○		実を鳥が好む
	サルナシ	陽	湿	中		○		雌雄異株実食用
	マタタビ	陽	湿	中	○	○		雌雄異株実食用

区分	樹種	樹種の特徴						
		光条件	水分条件	耐寒性	花	木の 実	紅葉	その他
落葉 つる 性	イワガラミ	中	湿	中	○			
	ツルアジサイ	中	湿	中	○			湿地植栽に適す
	ノイバラ	陽	湿	中	○			とげあり
	ヤマフジ	陽	湿	中	○			湿地植栽に適す
	ツルウメモドキ	陽	中	中		○		実を鳥が好む
	ヤマブドウ	陽	中	中		○	○	実食用
	エビツル	陽	中	中		○		実食用
	ツタ	陽	中	中		○	○	実を鳥が好む
	スイカズラ	中	湿	中	○			湿地植栽に適す
常緑 つる 性	ツルマサキ	中	中	低		○		実を鳥が好む
	ツルグミ	中	中	低		○		実を鳥が好む
	キツタ	中	中	低		○		実を鳥が好む
	テイカカズラ	中	中	低	○			
	サネカズラ	中	中	低	○	○		実を鳥が好む
ササ ・ タケ 類	アズマネザサ	中	中	中				高さ 3～4 m
	メダケ	中	中	中				高さ 5～6 m
	ミヤコザサ	中	中	中				高さ 0.5～1m
	スズタケ	中	中	中				高さ 1.5～2 m

区分	樹種	樹種の特徴						
		光条件	水分条件	耐寒性	花	木の实	紅葉	その他
落葉 高木	カラマツ	陽	乾	高	○		○	造林樹種
常緑 高木	アカマツ	陽	乾	中				造林樹種
	モミ	陰	中	中				葉の先端が鋭い
	ゴヨウマツ	中	中	中				奥山に生育
	ウラジロモミ	陰	中	高				奥山に生育
	ツガ	中	中	高				山地に生育
	スギ	中	中	中				造林樹種
	コウヤマキ	陰	中	中				奥山に生育
	カヤ	陰	中	中		○		雌雄異株 葉の先端が鋭い 実食用
	ヒノキ	中	中	中				造林樹種
	サワラ	中	中	中				造林樹種
	アスナロ	陰	中	中				奥山に生育
	ネズコ	陰	中	中				奥山に生育
	イヌガヤ	陰	中	中		○		雌雄異株
常緑 中高 木	ネズミサシ	中	乾	中				雌雄異株 葉の先端が鋭い
	イチイ	陰	中	高		○		雌雄異株 種子が有毒



## 5 参考文献

- 1 伊藤 洋、(1998)、埼玉県植物誌
- 2 宮脇 昭・奥田 重俊・望月 陸夫、(1978)、日本植物便覧、至文堂
- 3 茂木 透・石井 秀美・崎尾 均・吉山 寛ほか、(2001)、樹に咲く花離弁花 1  
三溪ハンディ図鑑 3、山と溪谷社
- 4 茂木 透・太田 和夫・勝山 輝男・高橋 秀男ほか、(2001)、樹に咲く花離弁花 2  
三溪ハンディ図鑑 4、山と溪谷社
- 5 中川 重年、(1994)、検索入門 針葉樹、保育社
- 6 佐竹 義輔・原 寛・亘理 俊次・富成 忠夫、(1993)フィールド版日本の野生植物  
木本、平凡社
- 7 (社) 林業改良普及協会、緑化技術ハンドブック
- 8 大場秀章、(2009)、植物分類表、アボック社